

(新連載 知っておくと、お得情報) 第3弾 【国家試験受験能力到達度試験】に参加した受験者の 「実感の声」と、受け入れ機関の「反応の声」

- ※ 第1弾の反響は、予想以上に大きかったが、第2弾では、ほとんど反響がなかった。弊社では、このことをHPの「10分間・5分間テスト問題」のダウンロード数を考慮しながら、反響がなかった原因を解析してみた。
- ※ その結果、第2弾の【生活言語能力】のチェック問題は、一般受験者には難解な問題であった。その根拠に、電話での聞き取り調査では、「日本人でも難しい」等の声が受け入れ機関から複数寄せられたことでも分かった。

- ※ しかし、【到達度試験参加者】は、70%の合格ラインをクリアできる能力が身につく。(HPのIPA学習支援参照)そこで、本号では【国家試験受験能力到達度試験】に参加している【受験者の声】と【受け入れ機関の声】を一部、紹介しながら、非参加者との「言語能力の到達度の違い」を日本の学校制度と比較して紹介する。
- ※ この主旨は、教育指導の仕方次第では、誰でも日本語力が身につけられることを知ってほしいからだ。

I、基礎言語能力を養うために、【自学能力】が最重要！

- 受験者は、母国と日本国内の教育、約3,580時間をも、既に日本語学習をしている。にも関わらず、【到達度試験参加】時の受験者の日本語力は、「日本人との会話ができない。」とか、「日本語が難しく、コミュニケーションがとれない。」等と悩む受験者が多かった。入職時の言語レベルを判定すると、今まで勉強してきた日本語が「整理整頓」されておらず、また、「日本語の使い方」をも、理解できていなかったことが特徴だ。
- 【到達度試験参加者】には、まず第一に、「自学ができる教材」を使って、「自学する習慣」を身につけさせる。第二に、自学の成果が表れる「構文式試験」を実施して、受験者自身が【自分の日本語力の到達度】を客観視できる数値で、能力を自覚させる。第三に、日本語能力段階別の試験を受けることにより、その到達度の数値が向上していることを認識させる。その結果、自分からより一層、自学する意欲を持つ。
- ※ 基礎言語能力とは、「日本人の小学校4年生レベルの言語能力」をいう。即ち、「マークシート式」の言語能力結果だけを中心に考えていると、小学校4年生レベルの「構文能力」もないために、仮に国家試験に合格できても、業務上で書類作成などができないから、支障が生じることとなる。

II、日本事情を考慮して、生活言語能力を養い、 日本社会を理解させる！

- 約4か月間で基礎言語能力を確実に身につけた後、日本の社会生活に必要な「人間関係・生活習慣・日本事情」を理解できるような日本語力を身につけさせる。基礎言語能力を養う段階で使用する教材には、「基本的な日本社会の知識」が習得できるようになっているために、その日本社会に対する基礎知識を基として、生活言語能力を養うことが重要だ。
- この段階で使用する教材は、「日本社会の知識だけではなく、日本事情や生活習慣等に関する知識」が多くあり、特に、国家試験問題で出題される抽象問題に対応する能力が養われるので、その重要度合は高い。
- ※ この生活言語能力段階では、日本人の中学2年生レベルの言語能力を身につけることを目標に学習する。

【参加受験者の声 その1】

フィリピンで日本語を勉強していた時は、日本語を話せなかったし、日本語の文法が分かりませんでした。言葉も覚えることができませんでした。日本に来て、施設で、この日本語の勉強をし始めてから、だんだんと日本語が分かって、自分でもできるようになったと思います。今の勉強は、レベルBです。(岡山県・O施設)

【参加受験者の声 その2】

事業団の教材は、とても難しくて全然解らなかったけど、【到達度試験】に参加して、日本語のテキストや試験で、勉強してから、日本語がよく解るようになりました。今は、日本人が使っている日本語の間違いも解るようになってきました。今の勉強は、日本人でも難しいレベルFをしています。(愛知県・K施設)

【受け入れ機関の声 その1】

事業団の教材は、日本語力が低い人には、難しく、その教材を使って教えていたが、理解できていなかった。そのことに気づいて、教育指導の仕方を全面的に見直した。今は、事業団教材は、段ボール箱に入れて使っていない……。ことばの研究社の指導通り、日本語能力がしっかりと高まってから使おうと思う。

(愛知県・K施設)

【受け入れ機関の声 その2】

事業団の前宣伝では、ベトナム人はN3をとっているのだから他国とは違うと、強調していた。それを信じて現地で面接したが、全然日本語が通じず、本人の意志も分からず、前宣伝とは随分違った。これでは、インドネシアと変わらないと感じたので、今まで通りの人財確保をしようと思っている。何よりも日本語力が大切だと痛感した。

(山梨県・M施設)

Ⅲ、国家試験問題に対する「読解能力」を養い、

【文脈理解能力】をつけることで、会話能力を養う！

- 国家試験問題の「設定文」と「質問文」を正しく読解する能力を養うには、「基礎言語能力」が基となる。
【読解能力】がなければ、複数行で書かれている「設定文の意味」を正しく理解できない。また、「設定文の文意」を理解するには、「複数行に渡る文の脈絡」を理解する能力が必要となる。この能力を【文脈理解能力】という。
 - では、【文脈理解能力】を養うためには、どうしたらよいのか考えてみよう。
一般的な教育方法では、表面的に「文脈を読み取る力」という国語教育的な視点で、捉えていることが非常に多い。しかし、国語教育はあくまでも、母語者に対する国語の教育であって、外国人に対する教育ではない。そのために、外国人に国語教育の方法で、文脈を理解させる教育を行っても、受験者が理解できないのは、当然のことだ。
 - 【到達度試験参加者】には、基礎言語能力段階から職域言語能力段階まで一貫して、【構文能力を養う】ことを重要視して指導をしている。即ち、【文脈理解能力】を養うためには、「構文能力」が不可欠だからだ。
「構文能力」は、自分の「思いや考えなど」を文にして表わす能力をいう。そのために、複数行に渡る文を作る能力が養われれば、文脈に対する理解ができるために、自らが【文の脈絡を作り出せる能力】を養えるからだ。
 - 会話の中においても同じことで、会話の流れ（話脈）を作れずに、「単語や、短い文でしか会話ができない受験者」は、「構文能力」がないことを表わしている。
即ち、それは同時に、【文脈理解能力】がないことを表わしている。受験者が会議や打ち合わせ等で自分の意見等を脈絡がなく話す場合でも、このような【文脈理解能力】のなさが表われていることに注目する必要がある。
- ※ この職域言語能力段階では、日本人の高校3年生レベルの言語能力を身につけることを目標に学習する。

Ⅳ、「暗記法」や「マークシート式学習法」では、

国家試験要請能力は、決して達しない！

- 受験者の多くは、母国で「暗記法」による学習を長時間行ってきた。また、来日直後の教育では「構文能力」を養う教育はせず、主に「読解能力」を養う教育が行われ、試験は「マークシート式」で受験してきた。その結果、入職時における言語能力は非常に低く、日本人の小学低学年レベルでしかないのが実態だ。
- そのために、現場の対応者は、まず、意思疎通ができないこと。さらに、受験者の意志の表明ができないために、「何を考えているのか分からない状態」が、全国各地で多発している。その結果、「日本語が難しいから分からない」とか、「勉強が嫌になった」とか、「もう帰国したい」等という声を、頻繁に発する事態となっている。その結果、帰国する原因にもなっている。
- 本気で国家試験に合格させる教育を行おうとするならば、「構文式の教育を基本」として行うべきだ。
その成果は、会話も「構文能力」がつくために円滑になり、「国家試験の設定文」の読解能力をも身につけることができ、合格の可能性が高まることとなるのだ。

【参加受験者の声 その3】

フィリピンでは日本語がよく分からなくて、日本に来て上手く話せませんでした。しかし、【到達度試験】で使う日本語の教材で勉強を始めてから、「日本語が自分でも話せるようになってきた」と感じて、驚いています。テストは難しくて、1回で合格することは難しいけど、レベルA試験とB試験を受けて、准看護師試験に合格できました。来年は、正看護師が合格できるように頑張っています。今の勉強はレベルDです。（宮城県・K病院）

【参加受験者の声 その4】

「インドネシアと日本に来てからの日本語の勉強」は、よく分かりませんでした。だから、利用者さんに、日本語が通じなくて、私はよく怒られていました。でも、5月から施設で日本語の勉強を始めて、少しずつ日本語が分かるようになりました。そして、自分一人で勉強できるようになりました。【到達度試験】は難しいけど、スカイプ授業は楽しくて、先生が言っている日本語はよく分かります。テキストと試験を勉強しているので、利用者さんから怒られることが少なくなりました。日本語をもっと上手になるように、勉強します。今は、レベルBです。（山梨県・M施設）

【受け入れ機関の声 その3】

【到達度試験】に参加してから、「日本語に対する質問や専門用語・知識に対する質問」が、受験者から毎日、沢山来るようになった。以前は、一生懸命、現場で専門知識を教えても理解しているのか、していないのか分からない状態だったが、日本語の勉強を専門家に頼んでから、現場も変化を感じるようになった。やっぱり、日本語力は大切だと感じている。合格した時に日本語力がなければ、実務は任せられないので、今の勉強は大切だ。（高知県・N病院）

【受け入れ機関の声 その4】

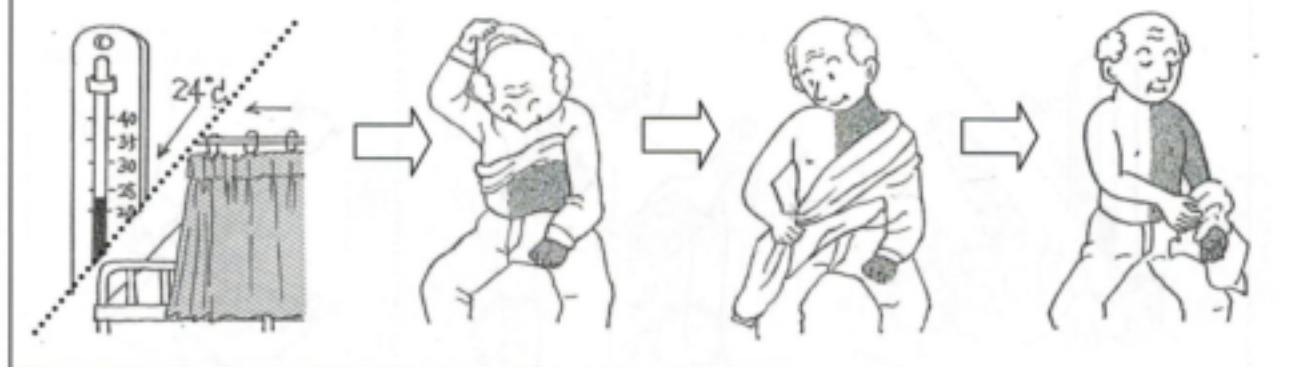
【到達度試験】に参加してから、日本語の教材を受験者が自学して、頑張って勉強している。テキストの問題やひらがなの一と、漢字ノートを解いているが、管理している職員も日本語の勉強になっている。「受験者の日本語学習の影響で、日本人の職員たちの日本語も、できるだけ正しく使うように意識」しだして、乱れていた日本語が職場全体で正しい日本語に変化してきている。こんなにも、影響があるのかと驚いている。（千葉県・S施設）

【国家試験受験能力到達度試験】（職域言語能力試験）

※1 この試験問題は、入職して2年目に行う試験だが、2年目以上の者でも受験して良い。試験時間は、5問を5分間以内で行う。解答の仕方は必ず、（主部+述部）の文で書かなければ、正解としない。

※2 正解率が80%以上なければ、「職域言語能力」がないとする。【到達度試験】参加後2年目に、この試験を受ける。1年間の学習の結果を数値で評価するので、「構文能力」が向上する。

半身麻痺がある人の上着の脱ぎ方（かぶる服の場合）



1. 上の絵について、の中から適切な言葉を一つ選んで（）に書き、
[]の言葉を使って、文をつくりなさい。

脱ぐ時は、 最後に、 その次に、 また、 初めに、

[室温、適温、する]

- ①（）、 1.

[カーテン、引く、着替え、見えないように、する。]

- ②（）、 2.

[健側、手、^{ジューイ}上^{ウイ}衣、えり、持ち、引き上げる、首、^ぬ抜く]

- ③（）、 3.

[健側、手、抜く、そで]

- ④（）、 4.

[^{カンゾク}患側、そで、脱ぐ、健側、手]

- ⑤（）、 5.

【試験実施日】： 年 月 日

【施設名】：

【受験者名】：

【教育担当者名】：

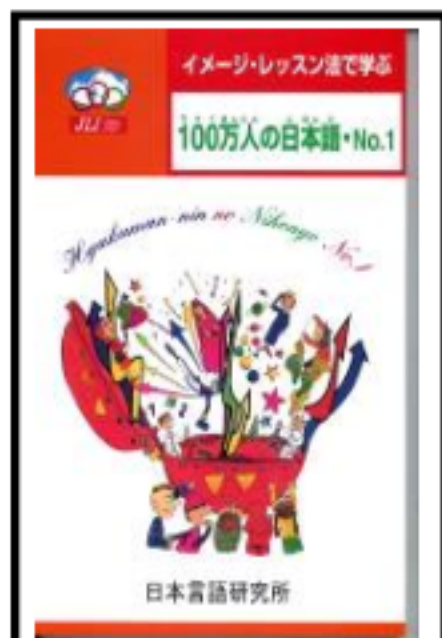
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる
- ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める
- ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

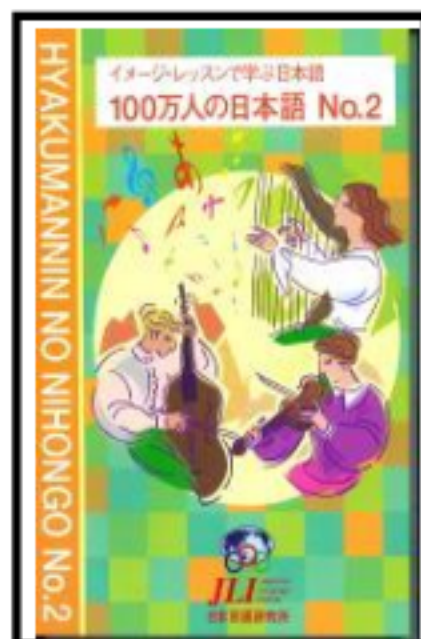
EPA学習支援
スカイプ・教材の無い自宅
ことばの研究所
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805円)
※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805円)
※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

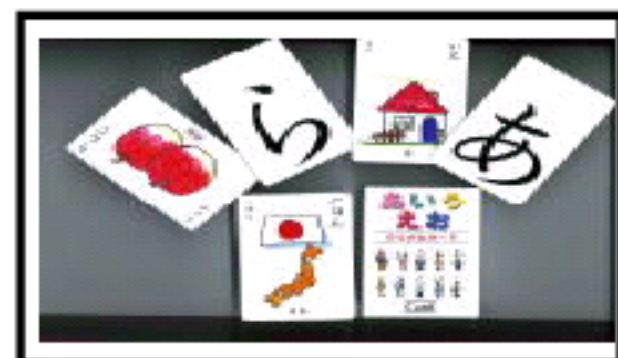
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもんことえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

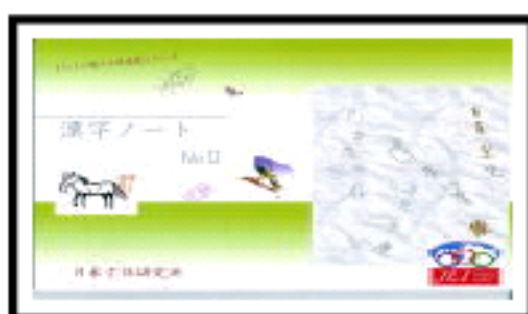
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二年目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三年目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		